



九州新幹線西九州ルート実現に向けた
大村市民総決起大会（8月18日市民会館）

都市計画用途地域の
工業地域内に個人住宅建設が
進んでいるが

永石賢二議員

(1)都市整備行政について
富の原2丁目の工業地域に個人住宅建設が進んでいる。この地域は企業を誘致するための地域であり、個人住宅が建つてくると企業誘致はできなくなる。そして企業と住民との間でトラブルが発生するのではないかと思うが、建築の規制とトラブルが発生した時の対応はどうするのか。
(2)企画商工行政について
新幹線西九州ルート（長崎ルート）について、6月議会の一一般質問で、着工する時には新大村駅はJR竹松駅に併設してもらいたいと質問してありました

が、8月18日大村市民会館での早期着工期成会決起大会で松本市長は声を荒げて早期着工を訴えていました。しかし並行在来線長崎本線の鹿島市・江北町は、長崎ルート建設にはいまだに同意していません。がむしゃらにお願いするだけでは難しい。鹿島市博多間は特急で約50分で行けるので、今のままで不自由は感じていないのだから、何らかの手立てがないと同意は得られないと思うが。

都市整備部長

(1)住宅と工場との混在は必ずしも好ましくないが、建築基準法において住宅の建設は認められており、これを規制することは困難である。また、問題が発生した場合は法にのっとって対処すべきだと考える。
なお、工業地域への住宅建設について、不動産関係者等に対し、それぞれの用途について施工主へこれまで以上に詳しい説明をしていただくようお願いをしたい。

市長

(2)並行在来線をJRの経営から分離することが、新幹線建設の条件となっていることを理解いただきたい。観光面など鹿島市にとっても新幹線建設のメリットはあると考えており、これまで鹿島市長に対し理解を求めてきた。今後もしろんなかたちで誠心誠意、真摯に説得をし、理解を求めていきたい。

三城小学校6年生の皆さんが
9月議会の一般質問を傍聴に来られました



編集後記

市長選挙のため、日程を早めて行われた今議会は、産業廃棄物処理施設に対する一般質問が連日続き、また請願が2件出されていたこともあり、市民の皆さまの関心が高く、いつもより多くの傍聴者に来ていただいた。

さらに、請願について審査が行われた委員会でも熱心に傍聴され、本会議にはない様子を知っていただくいい機会になったと思う。

また、小学生の体験学習での議会傍聴は、理解できない言葉も多く難しかったと思うが、真剣に聞いていただいた。

これを機会に少しでも議会に関心をもってもらえたら嬉しい。議会報にも、毎号目を通していただけるよう、更に工夫をしていかなければと思う。
(伊川)

議会報編集委員会

- 委員長 田中 守
- 副委員長 伊川 京子
- 委員 和崎 正衛
- 山口 弘宣
- 田中 昭憲
- 恒石 源治
- 久野 正義
- 松崎 鈴子

” ” ” ” ”